

前回の指摘事項への対応

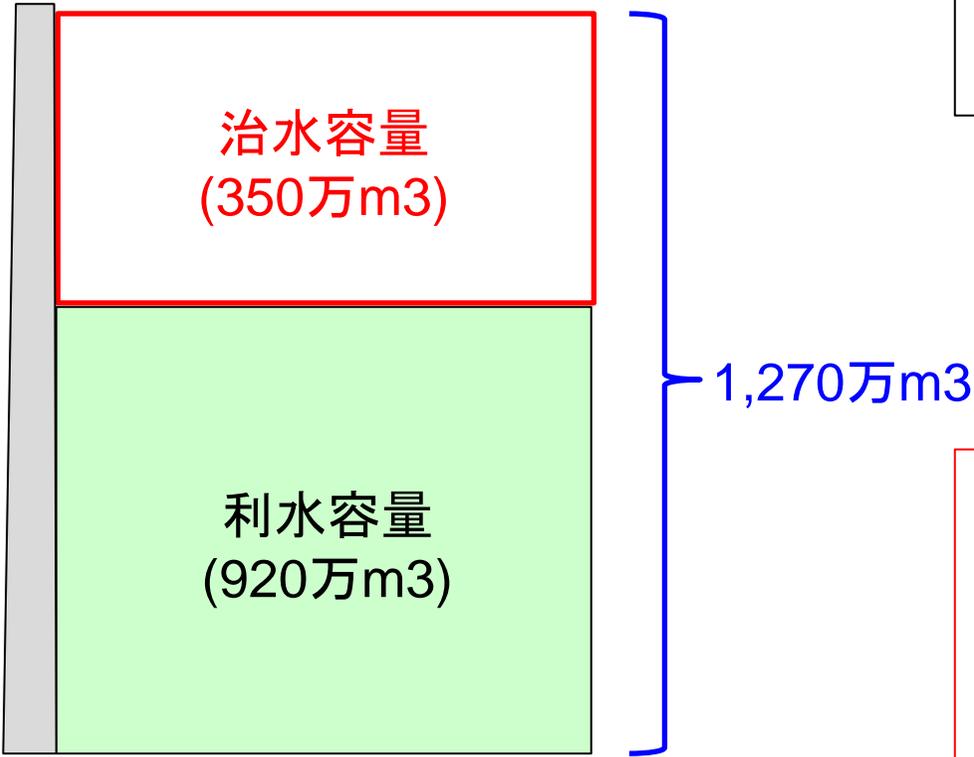
平成30年10月25日
四国地方整備局

野村ダムの治水容量について

【条件】

平成30年7月豪雨に対し、現在の操作ルールで野村ダムの最大放流量を1,000m³/s以下にするために必要な治水容量

野村ダムの容量配分図



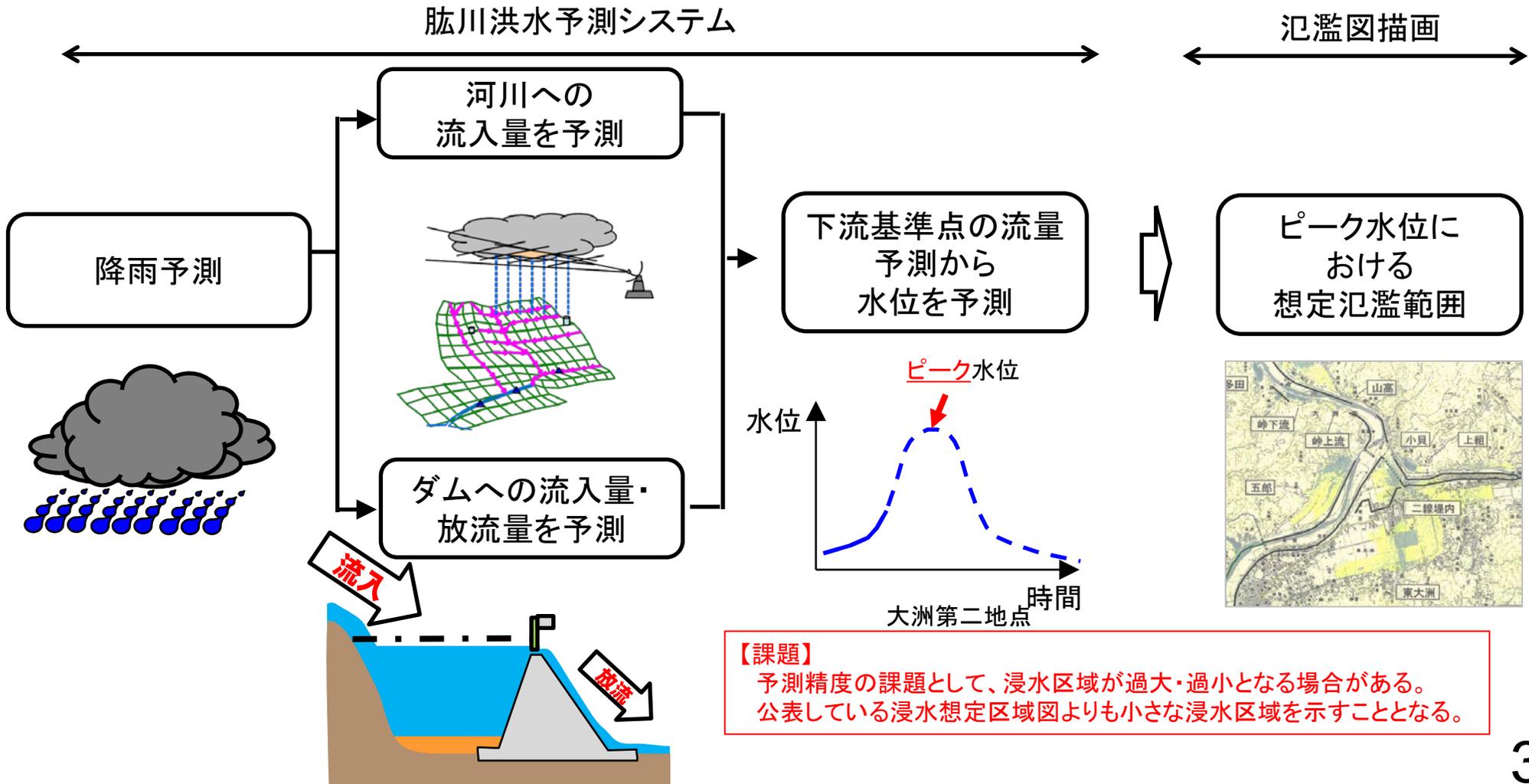
最大放流量1,000m³/s以下に
必要な治水容量



- ・約1,600万m³必要
（野村ダムの治水容量(350万m³)と利水容量 920万m³)を加えた、1,270万m³よりも遙かに大きな容量が必要)
- ・放流能力増強のための施設改造が必要。

【参考】肱川洪水予測の概要

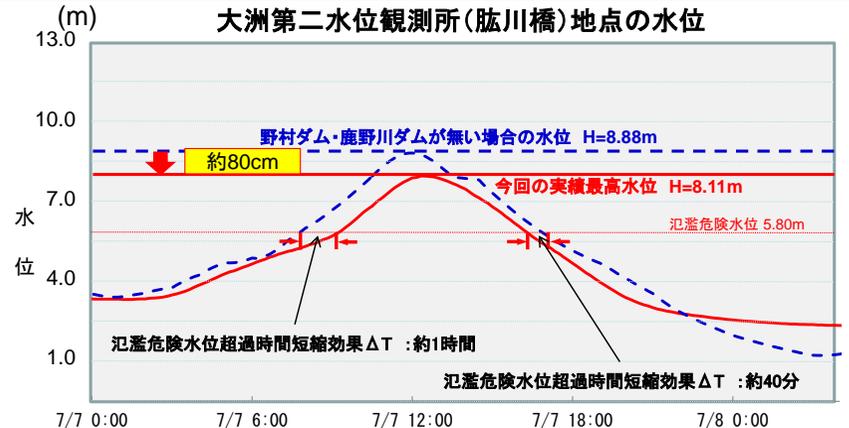
- 肱川洪水予測は、洪水時の降雨予測を基に、ダムへの流入量・放流量を予測し、河道流量予測から水位を予測。
- 肱川洪水予測システムで予測されたピーク水位から氾濫図を描画。（浸水面積・浸水戸数）



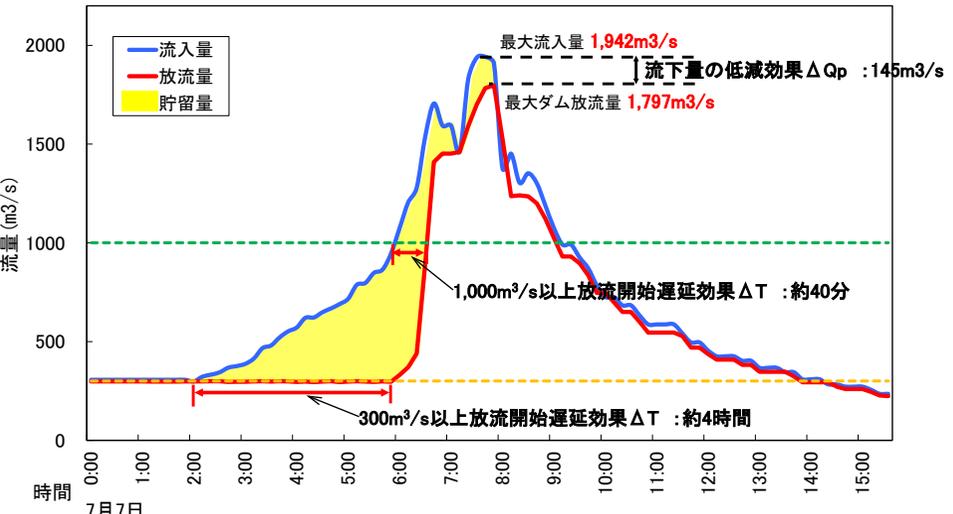
野村ダム・鹿野川ダムにおける平成30年7月豪雨時のダムあり・なしの比較

- 平成30年7月豪雨により、野村ダム上流域で421mm/2日（時間最大雨量53mm）、鹿野川ダム上流域で380mm/2日（時間最大雨量47mm）の降雨を記録。
- 野村ダムでは、下流の無堤地区である菅田地区が浸水を開始するダム換算放流量である300m³/s以上の放流開始を約4時間遅らせた。また、ダム直下の河道流下能力を超える放流量である1,000m³/sの放流開始を約40分遅らせた。
- 鹿野川ダムでは、下流の無堤地区である菅田地区が浸水を開始するダム換算放流量である600m³/s以上の放流開始を約4時間遅らせた。また、ダム直下の河道流下能力を超える放流量である2,300m³/sの放流開始を約40分遅らせた。
- 大洲第二水位観測所では、氾濫危険水位5.80mの到達時間を約1時間遅らせ、氾濫危険水位超過の終了時間を約40分短縮した。

肱川流域位置図



野村ダムの洪水貯留状況



鹿野川ダムの洪水貯留状況

